

食品ロス削減の取組み

環境カウンセラーは全国で食品ロスの削減に取り組んでいます。

多くの環境カウンセラーは EA21、ISO14000 等の審査員として食品事業者の廃棄物減量化を指導し、事業系の排出削減に寄与しています。

また、全国各地の研修や市民講座の講師として家庭での取組み方法を解説しており、直接的に家庭からの排出量削減に貢献しています。



プロバスケットチームとフードドライブのPR

環境省ではすぐれた取組みをしている環境カウンセラーを毎年表彰しており、食品ロス削減に功績のあった方々を紹介します。

循環型社会貢献賞・事業者部門 中上 富之（東京都）

外食店舗での「食べ残し持ち帰り運動」を発展させるため、普及コンソーシアムの設立や食品ロス削減のイベントを開催し、外食チェーンやホテル、自治体等に働きかけて食品ロス削減に取り組む活動を定着させた。

また、「アースアワー」イベント参加や大学・自治体セミナーの講師を務め、森づくり等を提唱した。環境カウンセラー会ひょうご会員としての活動など、全国で環境保全活動の発信に努力している。

地域特別貢献賞・事業者部門 山田 英夫（東京都）

食品ロス削減のための仕組づくりと子供たちの食育に取り組んだ。

特に、災害備蓄食品入れ替え時の廃棄を止め、リデュースとリサイクルを推進するために一般社団法人を立ち上げて国や自治体、企業に働きかけ、5年で約600トンの備蓄食品の利活用を実現した。

食品ロス削減委員会

環境カウンセラー全国連合会では、食品ロス削減委員会を設けて、全国の活動を支援し、連携して取組の推進を図っています。

